

令和2年度 事業計画書

大慈厚生事業会

1. <経営理念>

- ①時代の変遷にともない、福祉ニーズの変化を敏感に把握し、社会の人々のために、良質な福祉サービスを提供する
- ②いつでも、どこでも、だれでもが必要なときに最善の福祉サービスを提供できるように、日々、研究・努力する
- ③All for one, One for all
[全てが一人の為に、一人が全ての為に]

2. <基本方針>

- ・法人の設立方針である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき、人権を尊重した運営をする。
- ・各施設の基本方針を尊重する。
- ・社会的に評価を得られるよう努める。

3. <令和2年度法人ビジョン>

- ①経営強化について
 - ・安定的な経営基盤の強化

- ②教育システムの充実とサービスの質の向上について
 - ・職員OF職員の実施

- ③地域社会に必要とされる法人について
 - ・地域貢献事業の実施

4. <令和2年度目標>

- ①事業所内保育事業の開始
- ②事業継承計画の策定と内部管理体制の整備
- ③広報の強化

5. <行動計画>

- ①事業所内保育事業の開始
 - ・大慈智音園内の事業所内保育事業「大慈さくら保育園」の開始初年度という事で少人数の保育から始める。職員の福利厚生や雇用拡大に繋がる様にしていきたい
- ②事業継承計画の策定と内部管理体制の整備
 - ・法人が、今後も継続していけるよう未来を見据えた事業継承を行うと共に役員や各施設管理者等が一丸となって運営をしていける様な内部管理体制を作っていく
- ③広報の強化
 - ・広報チームを中心に戦略的な広報活動を実施する

6. 《主要事業》

	内容	月
役員会の運営	理事会の実施 決算・事業報告・その他 一次補正予算・予算・事業計画・その他	5月、1月
	評議員会の実施 決算・事業報告・その他	6月
	内容	月
事務局運営事業	監査事項説明会、監事監査	5月
	処遇改善交付金報告書	5月
	現況報告書作成、資産登記	6月
	監査資料の作成	
	労務（入職・退職等手続き・労働保険精算など）	随時
	給与計算	毎月15日
	年末調整	12月
	法定調書・支払報告書の作成	1月
予算委員会	7月、10月、1月	
人材確保事業	各福祉系学校への営業活動 就職フェアへの参加	6月、11月 年4回

7. 《会議》

会議名	頻度
法人運営会議	毎月
会計会議	

☆ 老人部門

1. 《目標》

合言葉をワンチームとし、全員が主体的になれる部門を目指す

- ・働き方や給与等の見直しと変更
- ・誰もが自分の意見を言える場作り
- ・戦略的な広報活動と人財確保
- ・技能実習生の受け入れ

2. 《行動計画》

- ①給与・人財システムの改善
- ②学生向けレジェンド発表会や昨年度作成したパンフレットを活用し、人財確保に努める
- ③部署内でのコミュニケーションを増やし、深める機会を作る
- ④新たに技能実習生8名を受け入れ予定とし、令和2年度中に合計18名となる見込み。今後育成の方法等細かい点まで各部署担当者が会議で話し合い、技能実習生が安心して、しっかりと育っていけるようにサポートする。

3. 《人財確保と育成計画等》

- ①人財確保 目標 新卒10名採用

広報チームが中心となって、戦略的な広報を行い人財確保につなげたい。新卒者については

高卒者の採用が比較的良好であることから、高卒者に対象を絞って活動してきたが、今後は大卒者や専門学校卒者も採用できるよう活動していきたい。

②人財育成計画

新人研修については、今まで通り初任者研修の受講を予定している。

中堅職員の育成は、入社式の運営や地域貢献への参加など介護業務以外の仕事に携わる事や横の繋がりを作る様にしていきたい。

役職者については、大慈弥勒園ではコーチング研修、その他の施設では遠藤メソッド研修を継続する。

今後は、働くスタッフ全員が自分の意見を出し、PDCA サイクルを回す経験が出来る様な仕組みを作りたい。

③福利厚生等

職員旅行・忘年会を実施する

月	内容	月	内容
4月	歓送迎会	10月	職員旅行
5月	フットサル大会	11月	フットサル大会
7月	学生向けレジェンド発表会	12月	忘年会、職員オブ職員
8月	こども参観日	3月	こども参観日
9月	勤続表彰		

4. 《地域貢献事業》

社会貢献委員会で実施している地域の祭りや行事に参加すると共に、神戸市老人福祉施設連盟と共同して、中学生への福祉教育を実施していく

月	内容	月	内容
4月	西神さくら祭り	11月	井吹東祭り
8月	大慈園地藏盆		井吹西祭り
9月	櫛谷川祭り	1月	中学校福祉教育
9月	井吹きらきら祭り	3月	こども食堂 (ほっとかへネット KOBE)
10月	西区健康福祉フェア		

●毎月・・・高齢者の移動・外出支援 (おもと会の送迎)

●都度・・・介護者への支援 (認知症サポーター研修へ職員派遣)

5. 《広報活動》

広報チームを中心としてホームページの更新、定期的な学校訪問による案内等、各学校とのつながりを作っていく

月	内容
7月	学生向けレジェンド発表会
11月	法人パンフレット発刊
3月	就職フェア参加

●随時対応・・・ホームページ・フェイスブック・スタッフブログの更新

6. 《研修計画予定表》

研修名	対象者	頻度
介護職員初任者研修	新人職員	4月～7月
新人職員研修	新人職員	4月～6月
パワハラ研修	役職者等	年1回
評価者研修	人事評価する職員	年2回
ステップアップ研修	昇級予定者	年1回
交換研修	希望者	年2回
昇級者発表会	昇級予定者	年1回

7.《施設整備計画》

外壁・防水工事等を計画している

8.《会議・委員会予定表》

会議名等	
事業戦略推進会議	予算管理委員会
人事委員会	モチベーションアップ委員会
広報委員会	こども参観会議
研修委員会	社会貢献委員会

☆保育・児童部門

1. 《目標》

施設間の情報共有の強化

2. 《行動計画》

- ①管理者会議の実施（月1回）
- ②他園との合同保育教諭会議（月1回）
- ③他園との合同キッチン会議（月1回）

3. 《人財確保と育成計画》

①人財確保

就職フェアへの参加、ボランティア、実習の受け入れを強化し、採用へと繋げていく。また、面接日時の個別対応を行う等、工夫をしていく。

②人財育成計画

組織の見直し及び、キャリアアップ研修を基に、スキルアップを図る。
また、園内でのフィードバックの時間も充分に取り、個々の保育技術、教育的知識の強化に努める。

4. 《地域貢献事業》

子育てサロンや外国にルーツを持つ子どもへの学習教室を定期的に行う。また、その周知に努め、地域のニーズに対応していく。
大慈こども園で毎年行っている地藏盆についても、毎年、一般の方約500名が来園される。

大慈こども園だけではなく、保育・児童部門全体の取り組みとして位置づけ、連携を取りながら行っていく。

5. 《研修計画・予定表》

研修名	対象者	頻度
新人職員研修	新人職員	4月
中堅職員研修	2・3年目職員	3月
保育・児童部門合同研修	希望者	年1回

6. 《施設整備計画》

予定なし

7. 《会議予定表》

職員会議
管理者会議
保育教諭会議
キッチン会議